

かい、行動（廊下の歩行、会釈など）に心がける。

10. 公共物のとりあつかい

学校の品物や道具はすべて公共物であると考え、校舎、机、椅子その他の品物をたいせつにする。

III 服装

1. 男子の服装

- (1) 学生服、学生帽を着用し、帽子には校章を正しくつける。
- (2) 右えりに校章バッヂ、左えりに年組バッヂをつける。
- (3) 夏季に上着を着ないときは、女子と同じものを左胸にとめる。

2. 女子の服装

- (1) 所定の標準服を着用する。
- (2) 校章バッヂ、年組バッヂを所定の台布につけて左胸にとめる。

3. 氏名票

校内生活では、学年色別氏名票を左胸にとめる。

4. カバン

肩かけカバンまたは黒、紺の手さげカバンとする。

5. 通学用靴

運動靴が望ましい。皮靴の場合には、黒、濃茶など、はででないものを心がける。（女子は、かかとの高いものはやめる。）

6. 靴下

- (1) 男子 白、黒、紺など、無地で色彩の強くないものとする。
- (2) 女子 白の無地とし、冬に使用するストッキング（黒）以外はすべて足首までとする。

7. 上ばき

校舎内では学年色別、体育館では体育館用の運動靴と

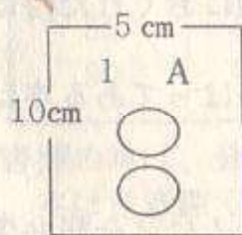
し、上下ばきの区別をはっきりする。すべて靴は、かかとをつぶしてはかないこと。

8. 頭髪

学校生活にふさわしいように心がけ、眼、耳、えりにかぶさらないようにする。女子はヘアーストランドやリボンは使用しない。またカールやウェーブはしない。

9. 体育の服装

- (1) 男子 白地丸首半そでシャツと白ショートパンツ
- (2) 女子 白地丸首半そでシャツと紺地ひだなしショートパンツ
- (3) 冬季および学校行事のとき男女とも、上記の服装に紺無地の上衣とタイツを重ねて着用する（遠足、移動教室、修学旅行、マラソン大会、大掃除などにも利用する）。
- (4) 記名 記名は、下の図のものを、上衣は左胸に、パンツ、タイツは右側のマークの下にぬいつける。



5 cm×10 cmの大きさは、白布でできあがったものの大きさとする。

10. 冬の服装

オーバーは男子、女子ともに、黒、紺、グレー系統ではででないオーバー、半コートとする。その他のコートについても同様。

学校生活中は、学生服だけになり、授業中はコートなどを着ない。

マフラーはしない方が望ましいが、もしするとき